

チームE

課題挑戦型オンラインインターンシップ 最終報告

メンバー

石岡葵 川上健太 小松幸太郎
森本恭介 山田竜也



課題

「空き店舗の有効活用策を考える」



課題の店舗について

○位置情報

- ・国道47号線と国道7号線の交差点に位置する

○元の店舗が閉店した理由

- ・全国チェーンの回転寿司店が多く進出してきたため



課題の店舗について

○店舗の情報

- 客席と厨房に分かれている
- 駐車場は30台ほど止められる

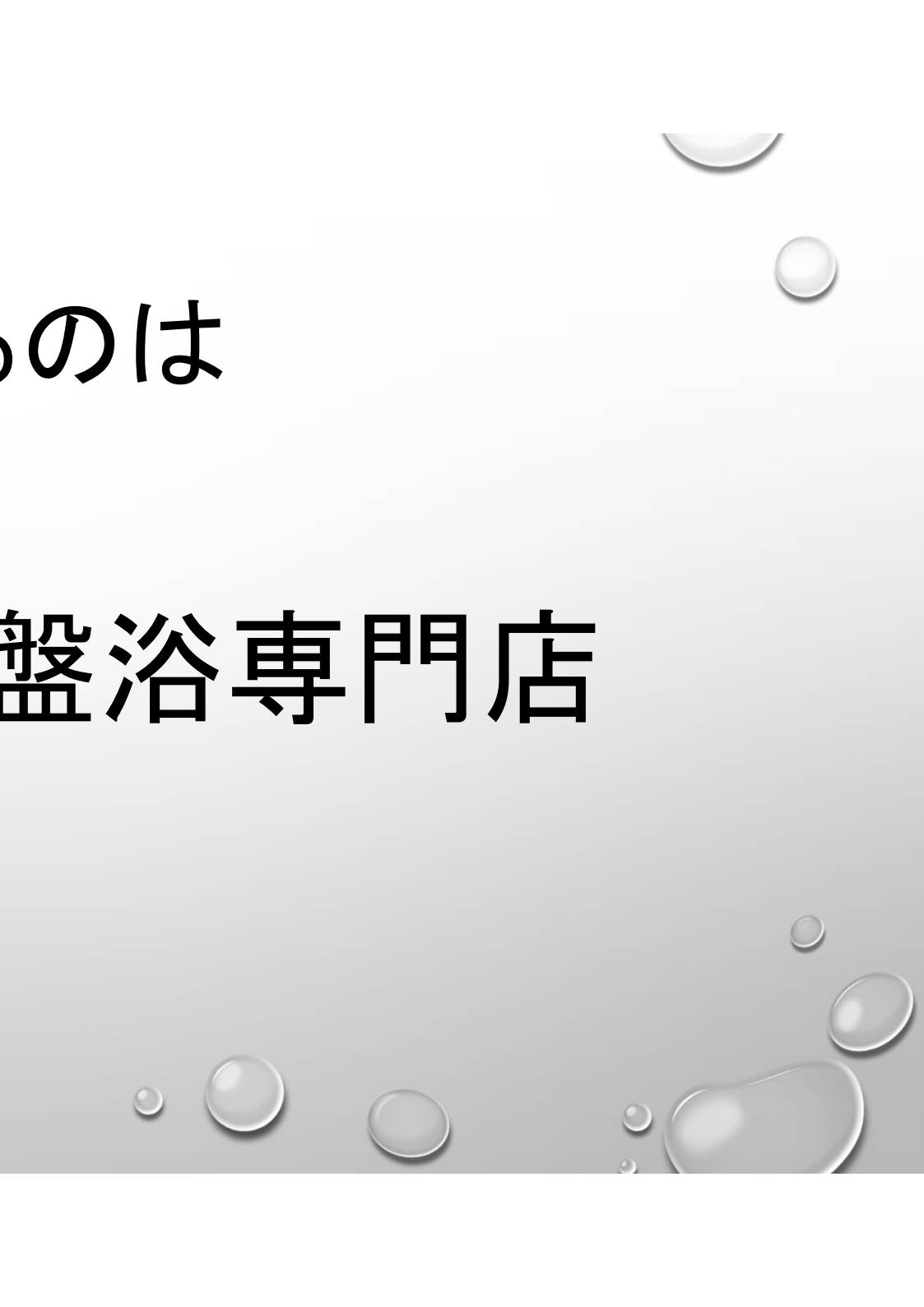
○周辺情報

- 同じ敷地内に牛丼屋がある
- 向かいにチェーンのラーメン屋がある
- ビジネスホテルが近くにある



● 私たちが提案するのは

サウナ・岩盤浴専門店



共同浴場(サウナ・岩盤浴)

○提案理由

- ・地方には専門店が少ない(宮城、福島に1件ずつあり)
- ・サウナや岩盤浴がブームになっている
- ・サウナが苦手な人のために岩盤浴も設置
- ・同業社の売上高営業利益率が3%~4%前後であるため

共同浴場（サウナ・岩盤浴）

○目的

- ・塩分摂取量全国5位→健康な体を作る
- ・コロナに強い体を作る
- ・サウナ・岩盤浴のみを利用したい人のため
（温泉を含めた共同浴場は市街地に1件）

共同浴場（サウナ・岩盤浴）

○サウナ・岩盤浴の効能

- ・肩こり解消
- ・免疫力の向上
- ・新陳代謝のUP
- ・活力が沸く
- ・冷え性解消

共同浴場(サウナ・岩盤浴)

○サウナと岩盤浴の違い

サウナ	岩盤浴
<ul style="list-style-type: none">・浴室温度は100°C前後・階段に座る・短時間で一気に汗をかく・長時間入ることは不可能	<ul style="list-style-type: none">・浴室温度は40°C前後・石の上に寝転ぶ・時間をかけて汗をかく・長時間入れる

共同浴場(サウナ・岩盤浴)

○共同浴場の概要

- ・温泉に常設されているサウナではなく、本場のサウナを再現
- ・設備は男性用サウナ、女性用サウナ、岩盤浴室、水風呂、シャワールーム、更衣室、飲食スペース
- ・テラス設置により野外で飲食可能
 - 春夏秋は飲食可能、冬は閉鎖
 - サウナ、岩盤浴の利用が無くても飲食可能
 - 料理は大皿ではなく全て1人前

共同浴場（サウナ・岩盤浴）

○共同浴場の概要

- ・月会費6,000円 1日券600円
- ・建物は北欧を感じられるような木を基調としたもの
 - 周りにない見た目で集客力UP
- ・24時間営業にする
 - 多くの人のニーズに対応する
 - 人材配置を最低限に抑える

共同浴場（サウナ・岩盤浴）

○コロナ対策

- ・客数を制限するのは現実的ではない

- 店前で検温の実施（37.5℃以上入店不可）

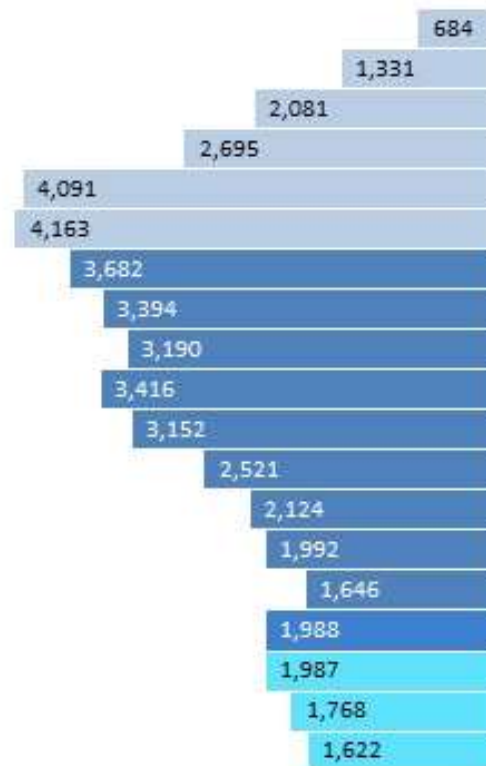
- ・タオル、ドライヤー、ウォーターサーバー、アメニティ類は置かない

- 持ち込み、販売等は有り

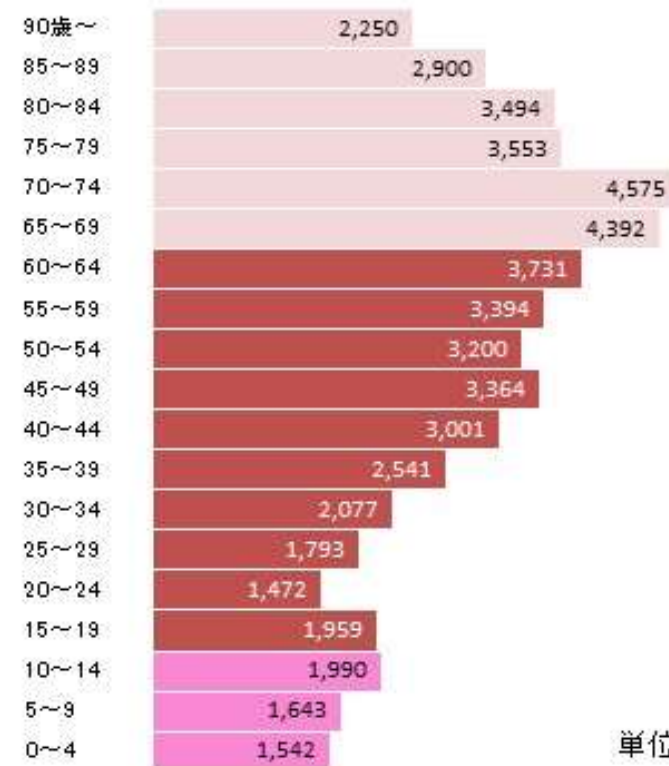
共同浴場(サウナ・岩盤浴)

2020年 酒田市の人口構成(予測)

男性計:47,527人



女性計:52,871人



単位:人

© jp.gdfreak.com

共同浴場（サウナ・岩盤浴）

○見込める効果

- ・市民の健康志向が高まる
 - ・サウナーたちの流れが酒田市街地に集まる
 - ・周辺地域の活性化に貢献できる
- 酒田市内の活気が上がるきっかけ